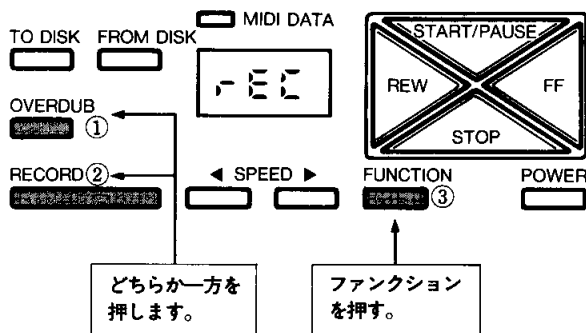


MIDIコントロール

パネルデータ送信要求の操作法

- 記録する際、記録データの頭に他の機器のパネル状態を記録したい場合は次の操作をおこなってください。尚、この操作は、パネルデータ送信機能を持ったヤマハのMIDI機器にのみ有効となります。
- またこの操作は記録（レコード）、オーバーダブの両方に有効となります。



【操作】

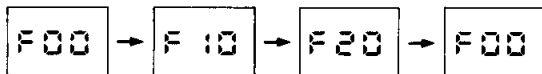
①のレコードまたは②のオーバーダブを押して、ディスプレイが[rEC]/[rxx]または[dUb]/[dxx]点滅中に③のファンクションを押すと、パネルデータ送信要求が送信され、受信がなされるとディスプレイ表示が点滅から点灯に変わります。

拡張ファンクション

拡張ファンクションは、(1)パネルデータ送信要求、(2)アフタータッチの記録、(3)スタート/ストップの送信の選択の3つのファンクションに関するモードを変えることができます。

①ファンクションのセレクト

ファンクションは3種類あります。①のファンクションのボタンを押しながら、②のスピードの◀ボタンを押して、ファンクションを選んでください。ディスプレイに現在のセット値、たとえば[F 10]と表示されます。2桁目の1がファンクションで3桁目の0がそのモードです。

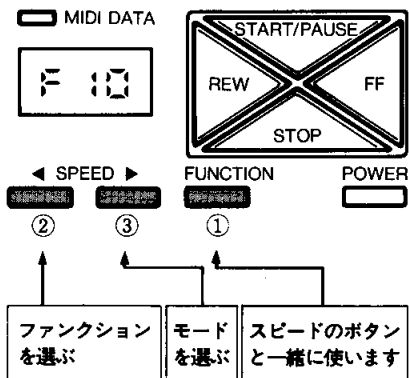


②モードのセレクト

①のファンクションのボタンを押しながら、③のスピードの▶のボタンを押してモードを変更してください。



- ①のファンクションのボタンを離れた時や、ファンクションをかえた時にそのファンクションのモードが決まります。



拡張ファンクションの内容

ファンクション	内 容
F 0	■ “パネルデータ送信要求” をレコードまたはオーバーダブのボタンを押した時に自動的に送出するかどうかを選択する。
F 0 0	自動送出は行わない。
F 0 1	自動送出を行う。
F 1	■アフタータッチ（キー別アフタータッチ=AnH／チャンネル別アフタータッチ=DnH）の記録の有無を選択する。
F 1 0	キー別アフタータッチとチャンネル別アフタータッチの両方を記録しない。
F 1 1	チャンネル別アフタータッチのみを記録する。
F 1 2	キー別アフタータッチとチャンネル別アフタータッチの両方を記録する。
F 2	■再生時に、スタート／ストップの送出を選択する。
F 2 0	記録したスタート／ストップを送出する。
F 2 1	記録したスタート／ストップは送出せずに、本機のパネルのスタート／ポーズを押した時にスタート／ストップを送出する。
F 2 2	F 2 0 と F 2 1 のいずれのスタート／ストップも送出する。
	■停止時または一時停止時は必ずストップデータを送出する。パネルによるスタートデータの送出時はその前にコンティニューデータを送出する。

●電源ON時は、F00、F10、F20がそれぞれセットされます。

クロックの切り替えについて

本体リアパネルのクロックを切り替えると、分解能、スタート／ストップについては次表の状態の時にそれぞれ異なるはたらきをします。

内 容	クロックがINTの時	クロックがMIDIの時
分解能	分解能192で記録・再生	分解能96で記録・再生
スタート／ストップ		
●記録待機時	外部機器の鍵盤キーオンまたはリズムスタート、本機のスタートボタンで記録開始。	外部機器のリズムスタートで記録開始。それ以外は [E 0 2] のエラーメッセージ表示。ただし、拡張ファンクションで [F 2 1] か [F 2 2] をセットすればキーオン、スタートボタンでも記録開始。
●記録時	本機のストップボタンで記録終了。	外部機器のリズムストップまたは本機のストップボタンで記録終了。
●停止時	本機のスタートボタンで再生開始。	本機のスタートボタンで再生開始。
●再生待機時	MIDIデータ受信または本機のスタートボタンで再生開始。	外部機器のリズムスタートまたは本機のスタートボタンで再生開始。
●再生時	本機のストップボタンで再生終了。	外部機器のリズムストップまたは本機のストップボタンで再生終了。

エラーメッセージと仕様

操作を誤ったり、不適当な操作を行うと、ディスプレイに下表のようなエラーメッセージが表示され点滅します。下表にしたがって処置してください。なお、点滅しているエラーメッセージはストップのボタンを押すと元の表示に戻ります。

表 示	メッセージの意味	処 置
E d 1	ディスクが装着されていません。	ディスクを装着してください。またはしっかり装着してください。
E d 2	ディスクのツメが折れているため、トゥディスクができません。	ツメの折れていないディスク面をお使いください。
E d 3	トゥディスク、フロムディスク、ベリファイエラー。	ディスクにキズがある可能性があります。他のディスクをお使いください。
E 0 1	MIDIデータ異常。断線などによってアクティブセンシングが受信されなかった。	断線の場合は、接続し直してください。その他の場合は購入店まで連絡してください。
E 0 2	EMQ-1をMIDIクロック(EXT.)にしたがクロックが受信されない。	送信側のクロックをINTにしてください。
E 0 3	記憶容量が少なくなっている状態(記憶残量1Kバイト)で、レコード/オーバーダブをしようとしている。	記録されません。他の曲を消してください。
E P r	市販のデータ入りディスクなどで、記録したデータの中にプロテクトがかかっているものをクイックディスクにセーブしようとした。	このデータはセーブすることができません。
F U L	レコード・オーバーダブ中、記憶容量を越えた。また、容量不足でマージできない。	他の曲を消すかトゥディスクの操作後、記録してください。
E r R	本体の記憶領域(RAM)に異常が発生した。	購入店まで連絡してください。

仕 様

- | | | | |
|---------|--|----------|---|
| ●記憶容量 | 60Kバイト(ユーザー領域)/最大18曲(片面9曲) | ●そ の 他 | エジェクト、ユーズランプ、MIDIランプ |
| ●記録媒体 | 2.8クイックディスク | ●付 属 端 子 | MIDI(IN, OUT 1, OUT 2) |
| ●モ ー ド | レコード、オーバーダブ、再生、ディスク | ●定 格 電 源 | DC IN(9-12V)
電源アダプター PA-4/PA-5 |
| ●コントロール | スタート/ポーズ、REW、FF、ストップ、ファンクション、
パワースイッチ、スピード◀/▶、
トゥディスク、フロムディスク、
オーバーダブ、レコード、クロック | ●最 大 電 流 | 900mA |
| ●ディスプレイ | ソングナンバー、プレイ、レコード、
オーバーダブ、リプレイ、スピード、
トゥディスク、フロムディスク、
ベリファイ、ファンクション、
エラーメッセージ | ●寸 法 | 間口 218mm
奥行 215mm
高さ 44mm |
| | | ●重 量 | 1.5kg |
| | | ●付 属 品 | クイックディスク×1、MIDIケーブル
(1m)×2、DCコード×1、受け台×2、
固定板×2 |

モード1:オムニ・オン、ポリ モード2:オムニ・オン、モノ
モード3:オムニ・オフ、ポリ モード4:オムニ・オフ、モノ

故障と誤りやすい現象

- 次の現象は故障と誤りやすい現象です。故障と思う前に該当する項目がないか確認してください。
- 本機は、周辺機器のひとつであり単独で使うことはありません。したがって、使用にあたっては接続する機器のMIDI機能が重要なポイントとなります。対象機種種のMIDIに関する記述をよくご覧になって、本機との整合性を充分確認してください。

現 象	原 因 と 処 置
9曲まで記録できない。	1 ソング内の記録データが長いと、9曲以内で記憶容量 (60Kバイト) を越えてしまう場合もあります。
記憶残量が充分あるのに10曲目に記録できない。	記録できるのは最大9曲までです。
以前の記録データが消えてしまった。	記録済みのソングナンバーに、誤って記録してしまったため。記録されていないソングナンバーを選び記録してください。
記憶残量があるのに記録できない。	記憶残量がなくなると、ディスプレイにエラーメッセージ [E 03] を表示して記録できなくなります。他の記録データを消してください。 〈ソングの消去方法〉 1. 消したいソングナンバーを選ぶ。 2. レコードを押す。 3. 少しのMIDI信号を送るためキーボードの音色セクターをひとつ押してください。 4. その後、本機のストップボタンをすぐに押してください。
オーバーダブを2回行ったら1回目のオーバーダブのデータが消えてしまった。	マージをしなかったため。1回目のオーバーダブ後マージの操作を行ってください。
記録した音色と異なる音色で再生された。	記録開始時のパネル状態を記録していなかったためです。 10ページの「パネルデータ送信要求」を行い、パネルのセッティングを記録してから演奏データを記録してください。 または、キーボード側がプログラムチェンジオフになっているためです。
記録中にリズムパターンをかえたが、再生時にリズムがかわらない。	機種によっては、途中からのリズムの変更は記録できません。 または、キーボード側がプログラムチェンジオフになっているためです。
再生スピードをかえたが、スピードがかわらない。	本機と受信側のクロックがマッチしていないためです。本機をINT.にして、受信側をMIDI (EXT.) にしてください。
アフタータッチを記録しない。	電源オン時はアフタータッチを記録しません。 拡張ファンクションでモードを切り替えてください。(11ページ)

ファンクション		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1-16 ×	1-16 ×	
モード	電源ON時 メッセージ 代 用	モード1 オムニ オン *****	モード1 オムニ オン ×	
ノート ナンバー	音 域	0-127 *****	0-127	
ペロシティ	ノート・オン ノート・オフ	9 nH, v=1-127 9 nH, v=0, 8 nH	9 nH, v=1-127 9 nH, v=0, 8 nH	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	○ ○	○ ○	
ピッチベンダー		○	○	
コントロール チェンジ	0-121	○	○	
プログラム チェンジ	設定可能範囲	○ 0-127 *****	○ 0-127	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	×	×	
リアル タイム	クロック コマンド	○ ○	○ ○	
その他	ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
備考				

モード1:オムニ・オン、ポリ モード2:オムニ・オン、モノ
 モード3:オムニ・オフ、ポリ モード4:オムニ・オフ、モノ

○:あり
 ×:なし

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

- 保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか?”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めて長時間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(機器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

YAMAHA 電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184	TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーポールビル2F	TEL.025-243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内	TEL. 06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ隣高松店内	TEL.0878-51-7777 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町1-1-2 ヤマハ隣名古屋流通センター	TEL.052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL.092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3	TEL.011-781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL.022-236-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39	TEL.082-874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911	TEL.0534-65-6711
(本社)電音サービス部	〒435 浜松市上西町911	TEL.0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

本 社

シングルキーボード事業部／〒403 浜松市中沢町10-1

TEL.0534(60)3275

東 京 営 業 所／〒104 東京都中央区銀座7-9-18パールビル

TEL.03(572)3130

東京特販営業所／〒104 東京都中央区銀座7-9-18パールビル

TEL.03(572)3130

大 阪 営 業 所／〒542 大阪市南区南船場3-12-9心斎橋プラザビル東館

TEL.06(252)7491

名 古 屋 営 業 所／〒460 名古屋市中区錦1-18-28

TEL.052(201)5150

九 州 営 業 所／〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL.092(472)2152

北 海 道 営 業 所／〒064 札幌市中央区南十条西1-4ヤマハセンター

TEL.011(512)6113

仙 台 営 業 所／〒980 仙台市大町2-2-10住友生命仙台青葉通ビル

TEL.022(222)6141

広 島 営 業 所／〒730 広島市中区紙屋町1-1-18

TEL.082(244)3749

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社

YAMAHA feelin' club



T4960693005828